



ここ

から

通信  
-KOKOTU-

|    | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | ● | ● | ● | ● | - | ● | ● |
| 午後 | ● | ● | - | ● | - | ● | ● |

診療科目：内科/放射線科/循環器科/リウマチ科  
〒960-8068  
福島市太田町20-7 佐周ビル 1階  
TEL:024-573-9335 FAX:024-573-9380

## 学校検診を継続し、早期発見・早期治療を

原発事故後、県民の要請で2011年10月から始まった甲状腺エコー検査で、すでに「公式」発表だけでも224人の若年者の甲状腺がんが見つかっています（詳しくは裏面に報告）。この事態に対して「見つけなくていいがんを見つけている」「甲状腺がんでは死なない」と言って甲状腺検査の縮小、とりわけ学校検診の取りやめを主張する学者や医師がいます。

彼らは「甲状腺検査にメリットはない」とまで言いますが、科学的にも医学的にも根拠はありません。放射線被ばくの心配がなく痛みもないエコー検査にデメリットはありません。はじめから検査もせず、がんを放置するという選択は間違っています。

福島県の県民健康調査検討委員会のもとで開催されている甲状腺検査評価部会においても、「（甲状腺がんを）そのまま放置したら、気管の出血が起こります。出血による窒息死が起こりますし、頸部大動脈・大静脈に浸潤して大出血を起こす。そういうのをわれわれは具体的に経験しています」と現場の甲状腺外科医が発言しています。「早期発見、早期治療」にメリット

があることは明らかです。県民健康調査検討委員会の議論でも、学校検診の取りやめには反対する意見が増えてきています。

ベラルーシ共和国のユーリ・デミチク医師（元国立甲状腺がんセンター所長）は、「子どもの甲状腺がんは、リンパ節転移する確率が高いのが特徴。ベラルーシ共和国で手術をせず様子を見た例と、手術をした例とでは、子どもの寿命は格段に違った。手術すれば、ほとんどの場合、高齢者になるまで健康に生きることができる」「見つけなくていいがんを見つけた、なんて言うてはいけない。見つけたがんはすぐに手術をした方がいい。それが30年間チェルノブイリで甲状腺がんと闘ってきた自分の考えだ」と述べていました。

チェルノブイリでは、事故から33年経過した今でも甲状腺検査を続けています。いまでも事故の影響と思われる甲状腺がんが見つかっています。福島の人々が被ばくしたのは事実ですから、甲状腺検査を受け続けることが大切です。

ふくしま共同診療所院長 布施幸彦

## 土・日も検査受けられます

- 子どもだけでなく大人の甲状腺がんも増えています。
- エコー検査は放射線被ばくの心配がなく、痛みもありません。乳がんのほか、心臓、肝臓、すい臓、腎臓などの検診にとりわけ有効です。
- ふくしま共同診療所は、土・日もエコー検査を行なっています。

土曜日は、女性技師が担当します。

| 検査日              | 土 | 日 | 月 | 木 | 金 |
|------------------|---|---|---|---|---|
| 午前<br>9:30-12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後<br>2:30-18:00 | ○ | ○ | - | - | ○ |

○→甲状腺エコー ♥→乳腺エコー

お問い合わせ・ご予約はお電話でどうぞ  
024-573-9335

## 無料甲状腺エコー検査 &健康相談 in 南福島

- とき 6月23日(日)  
10時～15時



- ところ 福島県青少年会館 第3研修室  
(福島市黒岩字田部屋53-5)

- ・ 甲状腺エコー検査は お一人様 約15分かけて行ないます。
- ・ 甲状腺エコー検査結果は、その場でお伝えします。
- ・ 健康に関するお悩みなどお気軽にご相談ください。

事前予約制です 024-573-9335 まで